

## 第2回 愛媛県水道広域化推進プラン検討委員会 議事概要

**日時** 令和3年2月2日（火）14：30～15：30

**場所** WEB会議

**参加者**

県：総務管理局长、市町振興課長、環境政策課長 ほか  
各地方局地域政策課長 ほか  
市：20市町、2水道企業団の関係課長等  
オブザーバー：有限責任監査法人トーマツ

### 会議次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
  - (1) これまでの検討状況等について
  - (2) 現状分析・将来推計等の報告書について
  - (3) 共同委託等について
    - ・漏水調査の共同化について
    - ・システムの共同化について
    - ・電気施設点検業務の共同化について
  - (4) 水道事業の現状及び課題等について
  - (5) 水道事業に係る国の関係施策等について
  - (6) その他（意見交換）

### 主な議事内容

#### ①これまでの検討状況について

これまで部会等で議論した内容を改めて説明し、検討委員会としての承認を得た。

#### ②現状分析・将来推計等の報告書について

第2回部会で意見のあった項目を事務局で修正し、改めて意見を求めた。

⇒ 追加の意見等がなかったため、事務局案により決定。

#### ③共同委託等について

##### <漏水調査の共同化について>

一部の団体から、漏水調査は定期的に行えておらず、参加することで他団体に不都合が生じる懸念があるため、共同委託への参加を見合わせたいとの意見があった。

(県) 今後、専門業者へのヒアリング等検討を進めていく上で、現状で参加を希望していない団体に対しても情報提供を行っていくので、いつでも参加してほしいと説明。

### <システムの共同化について>

一部の団体から、事務系システムの統合、具体的には、料金システムと会計システムの統合についてであるが、団体によっては料金システムを使用していない団体もあるため、会計システムを統合する方向で検討していきたいという意見があった。

これに対する他団体からの意見は次のとおり。

○統合することで、保守等を一元化でき、費用の節減が見込まれ、また、災害時等において事務的な支援を行えるようになるため、危機管理の面からも意味があると考えられる。

#### 【有限責任監査法人トーマツから】

事務系システムの統合については、他県の事例はそれほど多くないのが現状である。システムの統合に当たっては、前段階として科目等の運用面を共通化していくことについても検討する必要がある。また、危機管理等の定性的なメリットもあり、国もデジタル共同化の推進を行っているところであるため、検討を進めていくことは重要である。

### <電気施設点検業務の共同化について>

一部の団体から、電気施設点検業務について、他団体と条件が合うなら共同委託が可能ではないかと考えているとの意見があった。

これに対する他団体からの意見は次のとおり。

○水道のみではなく、他の部署でも併せて委託をしている。そのため、庁内で共同化することも進めているため、いずれがよいかは今後検討していく。

○当団体では一括で発注している。競合する会社がなく、スケールメリットがないのではと懸念しているが、効果があるのであれば検討したい。

<以上>